



平成30年2月7日

各 位

会 社 名 朝 日 放 送 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 脇 阪 聰 史
(コード番号 9405 東証第一部)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 室 長 井 上 隆 史
TEL 06-6458-5321

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、中期経営計画について決議いたしましたので、お知らせいたします。

当該計画の概要につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

2018-2020 朝日放送グループ 中期経営計画 「SUNRISE」

朝日放送株式会社

ABC

本資料には当社および当社の関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況、その他の様々な要因により、上記将来に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2018-2020 朝日放送グループ 中期経営計画「SUNRISE」

「朝日」をイメージさせ、躍動感と先進性を印象付ける
グループのコーポレートカラー「Sunrise Orange」(サンライズ・オレンジ)の思いを込めて
中期経営計画の名称を、「SUNRISE」とします。

グループ経営理念

朝日放送グループは、変化に対応しながら進化を続け、
強力な創造集団として、社会の発展に寄与する。

グループ成長ビジョン

放送業界の従来のビジネスモデルが大きく変化する中において、
総合コンテンツ事業グループに力強く進化し
「連結売上高1,000億円、経常利益率8.0%」を目指し成長する。

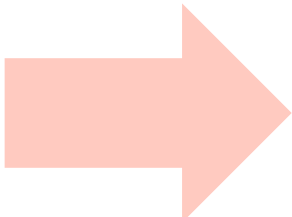
2018-2020中期経営計画「SUNRISE」経営目標

- 2020年度「連結売上高890億円、経常利益60億円」を必達する
- グループ成長ビジョン達成のための成長投資（投資枠200億円）を行う
- 配当性向は、30%以上とする
- ROEの改善に努める
- 連結売上高の3%以上の、海外事業を目指す

「SUNRISE」～経営目標

(単位：百万円)

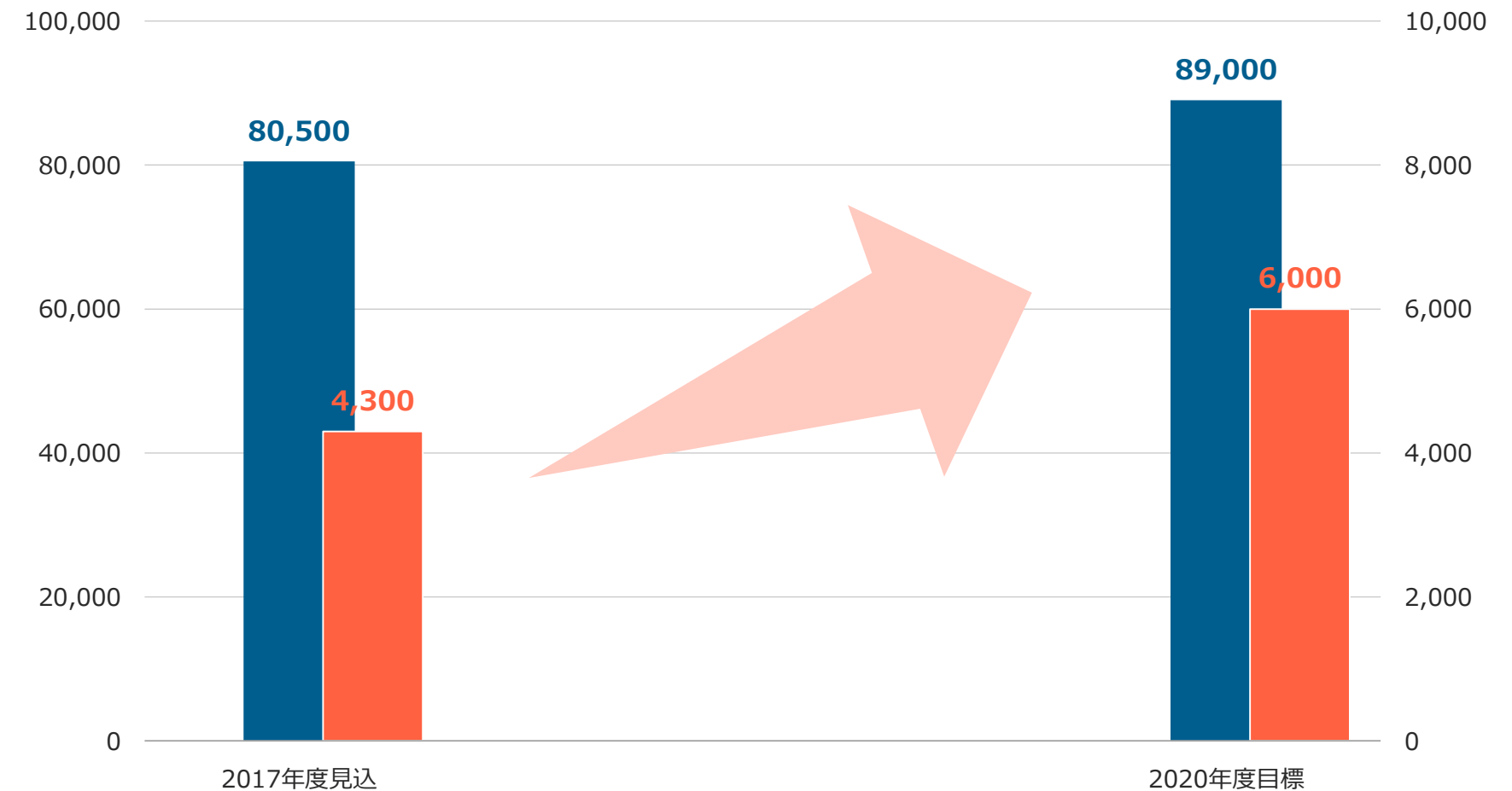
	2017年度 見通し	2020年度 計画
売上高	80,500	89,000
営業利益	4,100	5,800
経常利益	4,300	6,000
経常利益率	5.3%	6.7%
セグメント別売上		
放送	68,110	74,600
ハウジング	11,500	13,500
ゴルフ	890	900



「SUNRISE」～経営目標

単位：百万円

単位：百万円



売上高経常利益率

5.3%

■ 売上高 ■ 経常利益

6.7%

「SUNRISE」～5つの戦略目標

朝日放送グループは、変化をポジティブにとらえ、これまでの前例にとらわれることのない果敢な目標設定と挑戦を通じて、各々の役割に応じた事業戦略と施策を立案し実行する。

- **グループ連携の強化**
- **コンテンツの創造と価値の最大化**
- **成長投資と新規事業への挑戦**
- **変化に対応する人材の育成**
- **業務効率化と付加価値の高い働き方の実現**

「SUNRISE」～重点テーマ1-1 放送関連を強化

＜放送収入＞グループ成長の最重点領域は、視聴率トップ奪還による、地上波を中心とした収入

放送収入 (ABCテレビ・ABCラジオ・スカイエー)	2017年度見込み	2020年度
	649億円	684億円

* 各社の内部取引消去前の売上数字の合算

* 主な増収項目

スポット収入	2020年度の関西地区のテレビ広告市場は、2017年度並と想定 U49（※）をメインターゲットにタイムテーブル改革を実施。シェア26.3%を目指す (2017年シェア24.9%)
ネットワーク収入	プライム担当枠を増枠するのに加え、単価アップにより増収を目指す
配信収入	地上波広告収入以外の収益機会を拡大させる 放送起点だけではないコンテンツ作りのために、制作費を増額する
その他	大型イベントを企画し、増収を目指す CS放送は、ゴルフ・プロ野球などスポーツ関連コンテンツの開拓に努める ラジオは、生コマースでの増収・新企画の実施・IT業界との連携に取り組む

※U49：4～49歳の平均視聴率

「SUNRISE」～重点テーマ1-2 放送関連を強化

＜コンテンツ収入＞グループ成長の最重点領域は、通販・アニメを中心とした収入

コンテンツ収入 (AMC・ABCフロンティアHDグループ)	2017年度見込み	2020年度
	40億円	63億円

* 主な増収項目

* 各社の内部取引消去前の売上数字の合算

通販収入	テレビ通販番組のマルチユースと顧客サービス拡大し、増収を目指す
アニメ収入	アニメ枠の拡充や、アニメ映画への積極的・継続的な投資を実施し、増収を目指す
ライセンス収入	二次利用等のライセンスビジネスを拡大させ、増収を目指す
広告代理収入	関係先との取引強化により、広告代理収入の増収を目指す

* 新規事業の開発により、増収を目指す

＜収益改善への施策＞

制作費への投資は積極的に行う一方、業務の効率化等により、
コストコントロールをより一層進める

「SUNRISE」～重点テーマ2 ハウジング関連を強化

ハウジング関連をグループの成長の柱のひとつとして、積極的に強化する

- ハウジング関連の基幹事業の住宅展示場事業とHDC事業は、新規会場をオープンし、収益拡大を目指す
- 不動産事業では、人員体制強化を行い、安定した収入を確保する

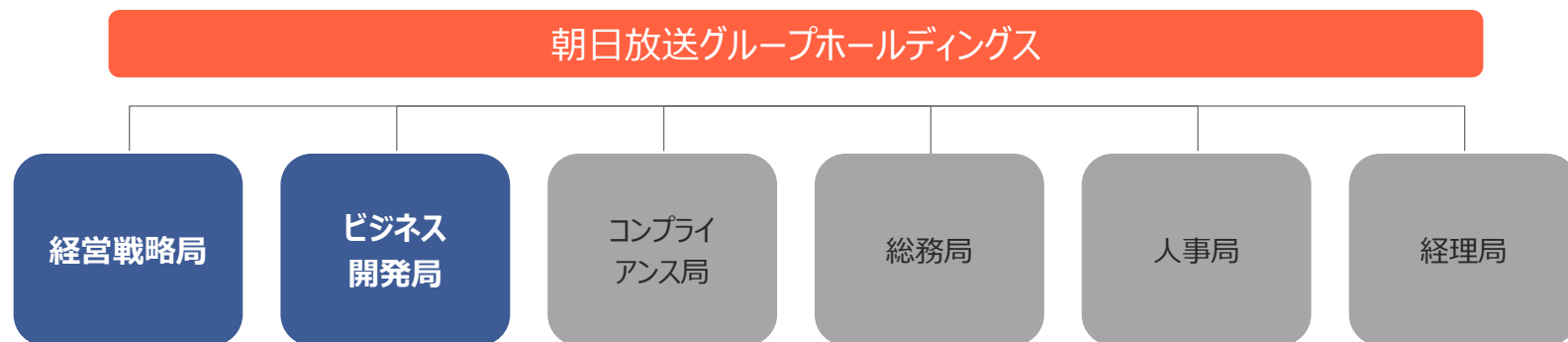
	2017年度末	2018 - 2020年度
住宅展示場	25会場 近畿圏16 首都圏 9	新規2会場 近畿圏 1 首都圏 1
HDC (ハウジング・デザイン・センター)	3会場 (神戸/大阪/名古屋)	新規1会場
不動産事業	<ul style="list-style-type: none">• 不動産賃貸• 小規模レジデンス等の販売	<ul style="list-style-type: none">• 不動産賃貸事業の拡大

「SUNRISE」～重点テーマ3 成長領域への投資を積極化

投資枠は3年間で200億円を設定し、CF以外に、手元資金活用と外部調達を検討

投資する領域は、放送事業の強化・補完、グループ企業とのシナジー、新たな収益の柱となる事業とする

- 朝日放送グループホールディングスの中にビジネス開発局を新たに設置し、経営戦略局とともに新たな成長分野の開発に積極的に取り組む
- ビジネス開発局は、東京を拠点とし、人材を社外からも登用し、人員体制を充実させる



- 海外事業の成長のため、ABCインターナショナル、ABCホライズンにおいて人員増強を行い、番組・フォーマット販売、海外向けコンテンツ制作、海外メディアとの連携強化、日本企業の海外展開サポート等の事業を展開し、海外売上の増収を計る